

あしなが育英会 制度のご案内



1. 事業の目的

あしなが育英会は、保護者（父または母など）が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または著しい障害を負っている家庭の子どもたちに奨学金を貸与して、進学援助を行うと共に教育指導と心のケアを行い、もって「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備え人類社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

2. 設立のいきさつ

あしなが育英会は、同じ境遇の遺児たちによる街頭募金などの“汗”と、市民のあたたかい“心”によって発足しました。1984年、街頭募金やあしながさん（継続的なご寄付者）の支援によって進学できた交通遺児たちは、「恩返し運動」で災害遺児育英運動を開始し、1988年から「災害遺児の高校進学をすすめる会」（武田豊会長）による奨学金制度を発足させました。

さらに、進学できた災害遺児が中心となり、病気遺児たちの奨学金制度づくりに取り組み、1992年4月に「病気遺児の高校進学を支援する会」による奨学金制度が発足しました。1993年4月、両会は合併し新しく「あしなが育英会」（玉井義臣会長）としてスタートしました。これによりすべての遺児（交通遺児は、交通遺児育英会を利用）の育英制度が整うこととなりました。

2018年4月からは発足以来初めての奨学金給付制度を開始しました。

3. 実績等

1988年4月以来30年間で4万2千人に累計458億円の奨学金を貸与しました（2018年3月31日現在）。

2018年度は、新規採用予定者を含めて、高等学校・高等専門学校生2,665人、大学生1,759人、専修・各種学校生666人、大学院生21人の計5,111人に40億円（内貸与25億円、給付15億円）を送金する見込みです。

奨学金の他に、神戸、東京、仙台、石巻、陸前高田の「レインボーハウス（虹の家）」では、小中学生の遺児や保護者に対する心のケア活動を実施。夏休みの「奨学生のつどい」では、高校生、大学生、専門学校生らに対する教育事業を行っています。

また、学生寮「あしなが心塾」（東京都日野市）と「虹の心塾」（兵庫県神戸市）を運営しています。生活困窮世帯の遺児でも大学進学できるよう、朝夕食付で寮費は1万円です。

4. 奨学生の種類・月額・募集人数＝2018（平成30）年度

奨学生の種類		月額	募集人数
高等学校奨学生 (高等専門学校も含む)	国公立	4万5千円(内 貸与2万5千円・給付2万円)	予約(中3生) 1,500人
	私立	5万円(内 貸与3万円・給付2万円)	在学(全学年) 500人
大学奨学生 (短期大学も含む)	一般	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 450人
	特別	8万円(内 貸与5万円・給付3万円)	在学(全学年) 160人
専修・各種学校奨学生	一律	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 250人 在学(全学年) 100人
大学院奨学生	一律	12万円(内 貸与8万円・給付4万円)	(前・後期1年生) 15人

※私立高校入学一時金(貸与30万円)・・・高校奨学生予約採用者対象(300人)

※私立大学入学一時金(貸与40万円)・・・大学奨学生予約採用者対象(150人)

※進学仕度一時金(40万円)・・・進学予定の高校奨学生3年生対象に貸与(400人)

5. 奨学生採用の条件

保護者が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または著しい障害（1～5級）を負い、教育費に困っている子どもで、次の条件に該当するもの。

- (1) 高等学校奨学生は、高等学校、高等専門学校、3年制の専修学校高等課程（大学受験資格を取得できる）に在学する生徒であること。
- (2) 大学奨学生は、大学または短期大学に在学する学生であること。
- (3) 専修学校および各種学校奨学生は、修業年限1年以上の専修学校専門課程または各種学校（無認可校は対象外）に在学する学生であること。

6. 奨学金の返還

奨学金のうち貸与部分は、送金が終了した6か月後から、年1回・半年に1回・毎月のいずれかの方法で20年以内に無利子で返還していただきます。返還が困難な方の相談も随時受け付けています。

7. 奨学生のつどい

(1) 高校奨学生のつどい

高校奨学生を対象に3泊4日の日程で夏休みに開催しています（全国8会場）。野外活動や語り合いなどを通しての仲間づくり、進路や夢について考えるプログラムも設けています。

(2) 大学奨学生、専修・各種学校奨学生のつどい

全国の大学および専修・各種学校奨学生1～2年生を対象に夏休みに開催します。卒業生や著名人の講演などもあり、より良い学生生活を送るためにどうするかを考える機会になっています。

8. 機関紙「NEW あしながファミリー」・ホームページ

本会の活動状況、先輩の社会体験、お母さん方の様子、奨学生が学校や家庭で頑張っている様子などを満載した全国の奨学生・保護者のご支援者と本会を結ぶ「心の交流新聞」です。

また、ホームページ www.ashinaga.org でもさまざまな情報発信をしています。

9. レインボーハウス（神戸・東京・仙台・石巻・陸前高田）活動

神戸と東京の「レインボーハウス」では、遺児とその家族の心を癒す活動を続けています。

2011年3月の東日本大震災の遺児には、特別一時金として282万円を2,083人に給付。仙台・石巻・陸前高田に「レインボーハウス」を2014年度に開設し、ケア活動をすすめています。

10. 学生寮「あしなが心塾（東京）」・「虹の心塾（神戸）」

「あしなが心塾（東京都日野市）」と「虹の心塾（兵庫県神戸市）」の2つの学生寮を運営しています。寮（塾）費は、家具・寝具など完備で光熱費なども含め朝夕の2食付きで月1万円です。塾生たちが将来、厳しい格差社会を生き抜き、「世のため、人のため」に貢献する人材に育つようにとの期待を込め、塾には、挨拶・礼儀・規律を重んじるルールや、実力を養成する独自のカリキュラムがあります。収容人員は「あしなが心塾」180人、「虹の心塾」50人です。

お問い合わせ あしなが育英会 〒102-8639 東京都千代田区平河町1-6-8 平河町貝坂ビル

電話（03）3221-0888 FAX 03-3221-7676 www.ashinaga.org